



パリ発ジュエリーブランド KORLOFF 高島屋日本橋に専用店舗グランドオープン

ナガホリ

（懶ナガホリが日本総代理店を務める、パリ発のジュエリーブランド「KORLOFF(コロロフ)」の国内6店舗目が、高島屋日本橋で5月13日にグランドオープンした。

KORLOFFは、世界最大級88カラットのブラックダイヤモンド「コロロフ・ノワール」をブランドアイコンに持つ、独立系フランスジュエリーメゾンだ。このダイヤモンドは、幸福や繁栄をもたらす伝説を持ち、その美しさに魅せられたフランス人企業家でダイヤモンドトレーダーのダニエル・バヤシュール氏が1978年に購入し、ブランドを設立。以降、KORLOFFは伝統的なフランスの宝石技術と革新的なデザインが融合した、独自のジュエリーを生み出し続けてきた。

現在はグローバルに40店舗を展開。日本とは2005年にパートナーシップを結び、名古屋三越栄楽店、東武百貨店池袋店、銀座のナガホリ直営セレクトショップ「Maison de NADIA」にて、その世界観を展開してきた。日本橋高島屋においても、これまで



ネックレスMサイズ、K18PG、ダイヤモンド、税込¥1,430,000



リングMサイズ、K18PG、ブラックダイヤモンド、税込¥1,540,000

エリーをより幅広く取り揃え、日常を彩るアイテムから特別な日の装いにふさわしい逸品まで、多彩なラインナップを展開している。歴史と格式を備えた日本橋という地で、より多くの顧客にKORLOFFの魅力を感じてもらおう機会を創出していく。

注目のシグネチャーコレクション「Korlove(コラブ)」は、ハートをモチーフにしたながらも、甘すぎず立体的なデザインが特徴。仕事にプライベートに、自分らしく輝き続ける現代の女性たちにふさわしい。

シリーズを含むフルラインナップが、6月3日～9日に開催の阪神メンズ東京のPOP-UPに初登場する。夏に向けて装いが軽くなるこの季節に、手元や首元にしなやかに個性を添える「No.」のジュエリーを、日常のスタイルにも自然に馴染むアイテムとして勧めたい。POP-UP会場では、No.の世界観を体感できる。

メジャーリーガー着用で話題の「No.」18シリーズ 阪神メンズ東京に初出店



メジャーリーグで活躍中の日本人選手が着用し話題の「No.」ジュエリーの「18」

鉾山会社は供給を制限することでダイヤ価格をなんとか維持しているのが現状。向かって何を販売するかが重要になってくると強調した。続けて組合においては「業界の高齢化により事業を断念する企業がこれからも出てくる。少しでも組合を維持する努力は続けなければならない。組合の活性化として力を入れているオークションに興味のある方を新規入会へ促すことが重要。各支部が一致団結して協力しましょう」と呼び掛け、あいさつにかえた。

メイン事業の一つであるオークションの日程は、関東主催が5月27日、7月27日、11月27日、1月7日。関西主催は6月27日、9月27日、3月27日となっている。

全国宝石卸商協同組合(理事長:加藤久雄)の「第73回通常総会」が、5月20日、東京美宝会館で開催され、組合員数105名(関東64、関西35、中部6)中、出席14名、委任61名が出席(出席率70%)し、第1号議案から第5号議案まで原案通り承認可決された。

加藤理事長は「ラバポートによる昨年のダイヤモンドの価格は1キカラで約1割の下落、ポインターで2割以上の下落」と要因はアメリカ市場での合成ダイヤモンドの台頭があり、エンゲージリングの5割を占めていると言われている。また、中国では喜平の需要が拡大し、ダイヤ需要が回復しないことも下落の要因になっている。

業界の高齢化を懸念 オークションへ新規入会の呼びかけ 全国宝石卸商



日本の構造美を再構築 ジュエリーブランド 文化とラグジュアリーが 交差する香港で受注会



日本の伝統文化や構造美を着想源に、現代的なジュエリーへと昇華する。店内では、オリジナルウェアに加え、クラシックシューズや高品質なプロダクトなど、審美眼をもとに選ばれたアイテムを展開。構造や素材、静かな存在感を重視する両者の感性が共鳴し、今回の展示開催に至った。

Kessaku BV

ファインジュエリーブランド「KESSAKU(ケッサク)」(所在地:オランダ、代表取締役:林晃雅)は、5月23日・24日の2日間、香港・K11 MUSEA内「The Anthology」にて、ブランド初となる香港展示受注会を開催した。

KESSAKUは、日本の伝統的な構造や造形、文化的ミニマリズムを基盤に、静かな存在感を持つジュエリーを展開するブランド。

ヨーロッパを拠点に10年以上ヴィンテージジュエリーの蒐集・販売を行う

中で培った審美眼を背景に、日本古来の造形を現代的に再構築している。今回会場となった「The Anthology」は、テーラードウェアやドレスウェアを軸に、クラシックな美意識を現代的に提案する香港のブランド/セレクトストア。

また、開催地であるK11 MUSEAは、アート・デザイン・カルチャーを融合した香港を代表する複合施設として知られ、世界中のラグジュアリーブランドやクリエイターが集う場所でもある。本展示では、しめ縄・竹・家紋など、日本古来の造形を再解釈した1st Collectionを展開。日本独自の構造や余白、美しい均衡を現代的なジュエリーとして再構築し、静かな存在感を宿すコレクションを提案している。

2nd Collection “TACK COLLECTION”では、「舌長鐘(したながあぶみ)」や「響(くつわ)」など、日本の伝統的な馬具に見られる機能美や構造をミニマルなジュエリーとして再構築。「静」と「動」の均衡をテーマに、実用の中に宿る造形美を現代的に表現している。

香港では今回初めて、2nd Collectionを実際に手に取り、受注できる機会となった。特別企画として、1st Collection「SHIME」および「CHIKU」シリーズの一部リングにおいては、K14 Gold仕様の特別受注を開始した。通常はSV925を中心に展開しているKESSAKUだが、本展示では香港限定の特別オーダーとして、ゴールド素材によ

る受注を実施。日本の伝統造形を再構築した静かな造形美を、よりラグジュアリーな表現で提案する。

KESSAKUは、日本の文化や構造美から着想を得たジュエリーブランド。

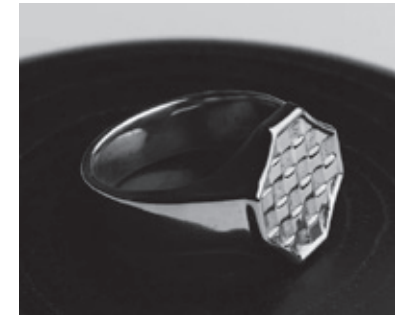
2025年10月に発表した1st Collectionでは、日本の伝統的な結びの文化から着想を得た「SHIME」をはじめ、「MON」「CHIKU」など、日本の象徴的な造形をモチーフとしたコレクションを展開した。

続く2nd Collection「TACK COLLECTION」では、日本の馬具に宿る構造美に焦点を当て、「静」と「動」という二つの概念を軸にジュエリーを展開している。

すべてのジュエリーは、日本の熟練した職人によって一点一点制作されている。



SIME BIND RING



MON ICHIMATSU HACHI Ring



CHIKU SECTION RING PM

日本初!フランス発ジュエリーブランド 「LA RÉFLEXION」がPOPUP

阪急メンズ東京



パリを拠点とするフランスのジュエリーブランド「La Réflexion(ラ・レフレ

クション)」が、5月27日～6月2日まで、日本初となるポップアップストアを阪急メンズ東京6階「GARAGED.EDIT」にて開催している。

本ポップアップストアでは、ブランドのシグネチャーである「Omega」プレレットをはじめ、イヤークフ、ネックレス、

リングを中心に、新作も紹介し、ユニセックスで着用できる幅広いサイズも揃う。期間中はデザイナーが在店し、ブランドの世界観や制作背景について直接紹介する。La Réflexionのジュエリーはフランスで一つひとつ制作されており、素材の本質的な美しさを映し出すフォルムは、身につける人の日常に静かな存在感を添える。

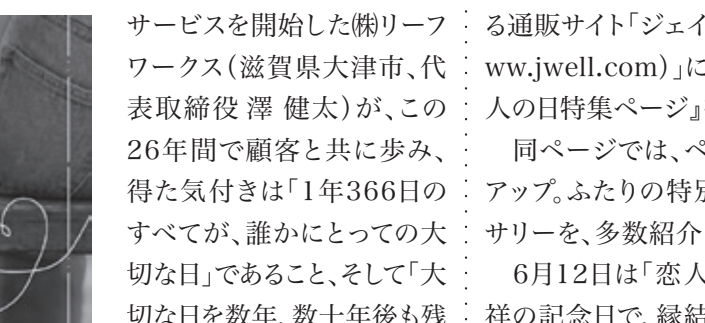
ブランド名の「Réflexion」は、フランス語で「反映」や「思索」を意味する。身につける人それぞれの生き方を映し出すことをコンセプトに、フランスで制作。常に自分自身と向き合いながら長きに渡って身につけて欲しいという願いが込められており、この考えがブランドの核となるフィロソフィー「Auto-reflexion(仏語で内省の意)」へとつながっている。



度を超えた。注目されたブースはいくつも点在したが、イタリアが生んだヴァレンツァの至宝「ピキョッティ」は、世界の名品となる美しさをひき、創業者であるジョ

ゼッペ・ピキョッティ氏による直接の説明によって魅了されていく姿が多く見られた。続いて、世界でも数少ない「Pique(ピクエ)」作家の塩島敏彦氏が生み出す芸術的作品や、オーストラリアン オパールコーナーでは、宝石品質で最大級の2335ctのボルダーオパール原石をはじめ、ボルダーオパールの符の模様風景画のように見えるピクチャーストーンなどが展示され、魅力的な輝きを放つオパールジュエリーが特集されていた他、夏以降に本格的な

導入が検討されている高品質・高付加価値のハイアンジュエリーの高額ラインなど、独自の魅力あるジュエリーなどが賑わいを見せた。毎回人気を博すイベントには、初日がフリースタイルのピアニスト「けいちゃん」による生演奏で優雅な時間を楽しめ、2日目はものまね王座決定戦や千鳥の鬼レンチャンで活躍中の歌手「松浦航大」による贅沢なステージに多くのユーザーが魅了されていた。今後の予定としては、隅田川花火大会の花火鑑賞をおもてなしとする大型催事「ファンタスティックジュエリーフェア」を7月25日に、浅草ビューホテルでの開催を計画している。



「6月12日恋人の日」に合わせキャンペーンを 大切な日に恋人たちを応援

アクセサリー・ジュエリーECモール

通販サイトの先駆けとして、2000年に

サービスを開始した（懶）ワークス(滋賀県大津市、代表取締役 澤 健太)が、この26年間で顧客と共に歩み、得た気付きは「1年366日のすべてが、誰かにとっての大切な日」であること、そして「大切な日を数年、数十年後も残

る美しい記憶にするのは、誰かの幸せを願う人の行動」だと、同社が運営す

る通販サイト「ジェイウェル(https://www.jwell.com)」にて、5月15日に、「恋人の日特集ページ」を公開した。

同ページでは、ペアアイテムをピックアップ。ふたりの特別な日を彩るアクセサリーを、多数紹介している。

6月12日は「恋人の日」。ブラジル発祥の記念日で、縁結びの聖人 聖アントニオを祭る前日にあたる。現地では古くから、恋人や夫婦が写真を贈り合う習慣が親しまれてきた。

近年、日本でも大切な人へ想いを伝える機会として広く知られるようになり、

写真立てやアクセサリー、花束など、心を込めたギフトを贈る人が増えている。

贈る人と贈られる人の特別なひとときをサポートできるよう、豊富なアイテムとギフトサービスを取り揃えているジェイウェルのように、ジュエリー業界も「恋人の日」に合わせ、特別なプロモーションを行いたい。

ジェイウェルは、「バレンタインでもないクリスマスでもない、ふたりだけの記念日にお揃いのジュエリーで、その気持ちを形にしてみませんか」として、応援キャンペーンを行っている。

地金製品の専門商社

オーロラ

ネックレス
キハインはあまかせ

業者向け WEB SHOP

初回限定!
5%オフクーポン

1本から送料無料
代引き・振込
手数料無料

ポイントが貯まる!
100円につき1ポイント

毎日の相場で価格を更新! 欲しい商品の在庫をいつでもチェック!

株式会社オーロラ 〒110-0005 東京都台東区上野3-23-11 松田ビル3F
TEL 03-3836-5678 / FAX 03-3836-5680 E-mail ask@aurora.co.jp

鑄造のスペシャリスト工場

EDGE

エッジキャスト

Cast

最高の鑄造と即納を実現

最新設備の自社工場だから可能に
お客様満足度に自信あります

Loki株式会社
〒116-0003 東京都荒川区南千住2丁目28-3 TEL: 03-5604-9777

貴金属皮膜用電気式保護処理

プロテクト2

変色を皮膜で守る
PROTECT 2

「プロテクト2」は
金・銀・プラチナなどのジュエリーに特化した電気式保護処理剤です。
ナノ単位の保護膜が、ジュエリーの美しさをしっかりとキープします。

甲府メツキ

甲府本社: 〒400-0032 山梨県甲府市中央5丁目2-11 TEL: 055-232-4421
東京支社: 〒110-0016 東京都台東区台東3丁目143-10 TEL: 03-5826-4067

お問い合わせは
公式ラインから